

授業科目 精神保健学

【担当教員名】  渡邊 良弘	対象学年	2	対象学科	社会（精神保健福祉コース必修）
	開講時期	後期	必修選択	選択
	単位数	4	時間数	60

【カリキュラムポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	○	○

【概要・一般目標：G10】  
心と身体をとりまく地域社会の動向や多様性からなる精神保健の基礎を知ることにより、人の一生におけるこころと生活課題、パーソナリティの形成と学校・家庭・職場における適応の問題、地域社会や国際社会と精神保健について、社会福祉に関連する知識を会得することにより、自ら思考し判断ができる

- 【学習目標・行動目標：SBO】
1. 精神保健の歴史と現在の精神保健福祉にいたる経緯と意義の知識を有する
  2. 人生における成長課題についての認識を得て人格の尊厳についての知識をもち自らの言葉として表現できる
  3. 家庭・学校・職場・地域社会における精神保健問題について知り問題解決能力の知識を体得する
  4. 精神保健の施策と健康増進に関する法律とその課題について学ぶ
  5. 諸外国の精神保健とわが国の精神保健を比較することができる

回数	授業計画・学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	精神保健とは 概要と背景	1	講義 金曜日の連続2コマを
2	" 精神保健の課題	1	講義 用いる
3	人と環境と精神保健 人間生態学	1	講義
4	" 人間生態学と精神の健康、環境	1	講義
5	人の生涯と精神保健（1）ライフサイクルと精神保健	2	講義
6	" 胎児期、乳児期における精神保健	2	講義
7	人の生涯と精神保健（2）幼児期における精神保健	2	講義
8	" 児童期における精神保健	2	講義
9	人の生涯と精神保健（3）思春期・青年期における精神保健	2	講義
10	" 成年期における精神保健	2	講義
11	人の生涯と精神保健（4）老年期における精神保健	2	講義
12	" 喪失・悲嘆と精神保健	2	講義
13	生活の場所と精神保健 家庭・学校における精神保健	3	講義
14	" 職場・地域における精神保健	3	講義
15	精神保健問題の診断（1）精神障害の分類	3	講義
16	" 精神保健問題について	3	講義
17	精神保健問題の診断（2）ひきこもり 非行 不登校	3	講義
18	" 依存症 アルコール 薬物乱用	3	講義
19	精神保健問題へのアプローチ（1）精神障害	3	講義
20	" 認知症	3	講義
21	精神保健問題へのアプローチ（2）薬物、子どもと家庭	3	講義
22	" 思春期精神保健	3	講義
23	精神保健問題へのアプローチ（3）地域精神保健	3	講義
24	" ターミナルケアと精神保健	3	講義
25	わが国の精神保健対策	4	講義
26	" 精神保健の法制度	4	講義
27	各国の精神保健	5	講義
28	" 世界的な精神保健課題	5	講義
29	現代社会と精神保健	5	講義
30	まとめ		

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	臨床に必要な精神保健学	松久保章（編）	弘文堂	2,700円＋税
参考書				
その他の資料				

【評価方法】 出席状況 30%、後期試験 70%である	【履修上の留意点】 著しい私語など授業の妨げや迷惑行為はその都度注意する
--------------------------------	---